

# 森・川・海ひだみの 流域フォーラム

森・川・海ひだみの流域で育む「清流の国ぎふ」へ

日時 平成 25 年 2 月 23 日 (土)  
13:00~16:30 (開場12:30)

会場 じゅうろくプラザ 5階 中会議室2  
岐阜市橋本町1丁目10番地11(JR岐阜駅西)

定員 80名 (申込要 先着順)

## 内容・スケジュール

13:00 開会挨拶

13:10 基調講演 「いい川づくりと流域保全」

原田守啓氏 (独)土木研究所自然共生研究センター 専門研究員

14:20 活動報告

・宮川・庄川流域 ・揖斐川流域 ・飛騨川流域

・長良川流域 ・22世紀奈佐の浜プロジェクト等6団体

15:40 意見交換会 コーディネーター 佃正壽

16:30 閉会挨拶

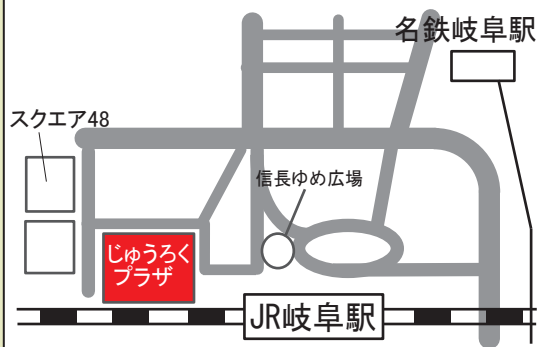
無 料

申込〆切

平成25年

2月15日(金)

## じゅうろくプラザ案内図



## 申し込み・問い合わせ先

氏名、連絡先(電話、Email等)、所属を記入の上、「森・川・海ひだみの流域連携協議会事務局」へFAXもしくはEmailでお申し込みください。

※申し込み用紙、裏面

森・川・海ひだみの流域連携協議会事務局  
(NPO法人森と水辺の技術研究会)

FAX: 058-266-6388

Email: forum2012@hidamino-ryuiki.net

主催 森・川・海ひだみの流域連携協議会

後援 岐阜県、22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会、伊勢・三河湾流域ネットワーク

「森・川・海ひだみの流域フォーラム」は、「清流の国ぎふ森林環境税」を活用して実施しています。

# 森・川・海ひだみの流域フォーラム

森・川・海ひだみの流域で育む「清流の国ぎふ」へ

## 森・川・海ひだみの流域連携協議会

### 設立

2009年8月に、岐阜県に係わる森・川・海をフィールドとして活動するNPO法人や団体等が互いに連携し、生きた森林づくり、地球温暖化防止、水源や水辺の保全、生物多様性の保全、子どもたちへの環境教育などに取り組み、流域一体となった県民協働による森林づくりや環境保全活動を推進することを目的として、設置されました。

### 活動

当協議会は、長良川、揖斐川、木曾川・飛騨川、土岐川・矢作川及び宮川・庄川の5つの流域区分を基盤として下記事項を目的とした活動に取り組んでいます。

- ・森・川・海を育む流域づくり活動の実践及び支援
- ・森・川・海を育む流域づくり活動団体ネットワークの構築及び拡充
- ・森・川・海を育む流域づくり活動の普及活動
- ・その他協議会の目的を達成するために必要な事業及び活動等

### 主な活動

- ・2010年1月31日 じゅうろくプラザ（岐阜市）  
「森・川・海ひだみの流域サミット」開催
- ・2011年2月6日 県民文化ホール未来会館（岐阜市）  
「森林環境教育フォーラム」開催
- ・2012年2月26日 大垣市情報工房スイングホール（大垣市）  
「森・川・海ひだみの流域シンポジウム」開催
- ・各流域、伊勢三河湾、富山湾流域保全活動

### 運営

代表幹事 佃正壽 森林たくみ塾  
副代表幹事 伊藤栄一 森のなりわい研究所

### 事務局

〒500-8178  
岐阜市清住町2丁目2番地  
特定非営利活動法人 森と水辺の技術研究会内  
TEL/FAX : 058-266-6388  
Email : info@hidamino-ryuiki.net

## 講師プロフィール

### 原田 守啓 氏

- ・（独）土木研究所自然共生センター専門研究員
- ・岐阜大学流域圏科学研究センター特別協力研究員
- ・博士（工学） 技術士（建設部門） 環境計量士

### プロフィール

1976年 静岡県浜松市生まれ  
2001年 岐阜大学大学院工学研究科博士前期課程  
土木工学専攻修了後、建設コンサルタント勤務を経て、2012年7月より現職  
2012年3月 学位取得 博士（工学）  
専門（研究分野）：水工学、土木環境システム

## 森・川・海ひだみの流域宣言

岐阜県は森林が県土の約8割を占める森林県です。岐阜の森林に源を持つ清らかな流れは、田畑を潤し、様々な生き物をはぐくみ、里に豊かな恵みを与え、さらに、県境を越え北に富山湾、南は伊勢湾、三河湾に注ぎ豊かな海を育てています。

流域に営む私たちは、その森林や清流から多くの恵みを受けて暮らしています。また、長良川の鶺鴒など先人たちが大切に守り育ててきた文化や伝統を受け継いでいます。さらにその地形や地質などから、飛水峡、恵那峡などの景勝地を生み出しています。

しかし、その清らかな流れは、森林の荒廃や、流域環境の悪化、生活様式の変化などで少しずつ変わり、時には、災害や内湾の水質汚染を引き起こします。

私たちは、先人たちがそうであったように、受け継いだ自然や文化に感謝し、その素晴らしさを誇りに思い、守り育てていかなければなりません。

今ここに、「森・川・海ひだみの流域サミット」を開催するにあたり、流域を愛し、誇る多くの人々とともに流域に係わる私たちの手で守り育て、次代に継承することを誓い、宣言します。

（2010年1月31日 森・川・海ひだみの流域サミットにて採択）

## 森・川・海ひだみの流域フォーラム 参加申込書

氏名		電話	—	—
E-mail	@			
住所	（〒 — ）			
所属				